

# ユニット型絶縁信号変換器

## MS3200シリーズ

### 取扱説明書

文書番号：MQDDK-021211

この度は、MTT製品をご採用いただき、誠に有難うございます。

現品をお受け取りになりましたら、まず、本機の仕様をご注文通りのものであることを、現品の表示ラベルの記載でご確認下さい。万一、仕様の誤りや、輸送上、その他の原因による損傷などが発見されました場合には、速やかに、弊社営業所またはお買い求め先にご連絡下さいますようお願い申し上げます。

弊社製品はすべて、厳格な品質管理基準に基づいて製造されておりますので、ご安心の上、お使いいただけるものと存じます。

#### 記

#### ◆保証期間と保証範囲

##### 〔保証期間〕

納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後3ヶ年といたします。

##### 〔保証範囲〕

上記保証期間中に弊社の責により故障を生じた場合は、その機器の故障部分の交換、または修理を弊社の責任において行います。

ただし、つぎに該当する場合は、この保証の対象範囲から除外させていただきます。

- (1) 需要者側の不適当な取扱い、ならびに使用による場合。
- (2) 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- (3) 弊社以外の改造、または修理による場合。
- (4) その他、天災、災害などで、弊社の責にあらざる場合。

なお、ここでいう保証は、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

※万一不良品が発生した場合は無償で修理致します。なお不良箇所につきましては、解析の上ご報告致します。

## 1. はじめに

この取扱説明書は、エムティティ株式会社（以下MTT）の高密度実装ユニット型絶縁信号変換処理システム「MS3200シリーズ」の設置および操作方法を説明するものです。

## 2. 製品概要

### MS3200シリーズ

MTTの高密度実装ユニット型絶縁信号変換処理システムです。1chごとにスチール製ケースに収めた絶縁信号変換器と、その絶縁信号変換器を収納するための専用収納ラック（RC3200）、で構成されます。

### 信号変換器

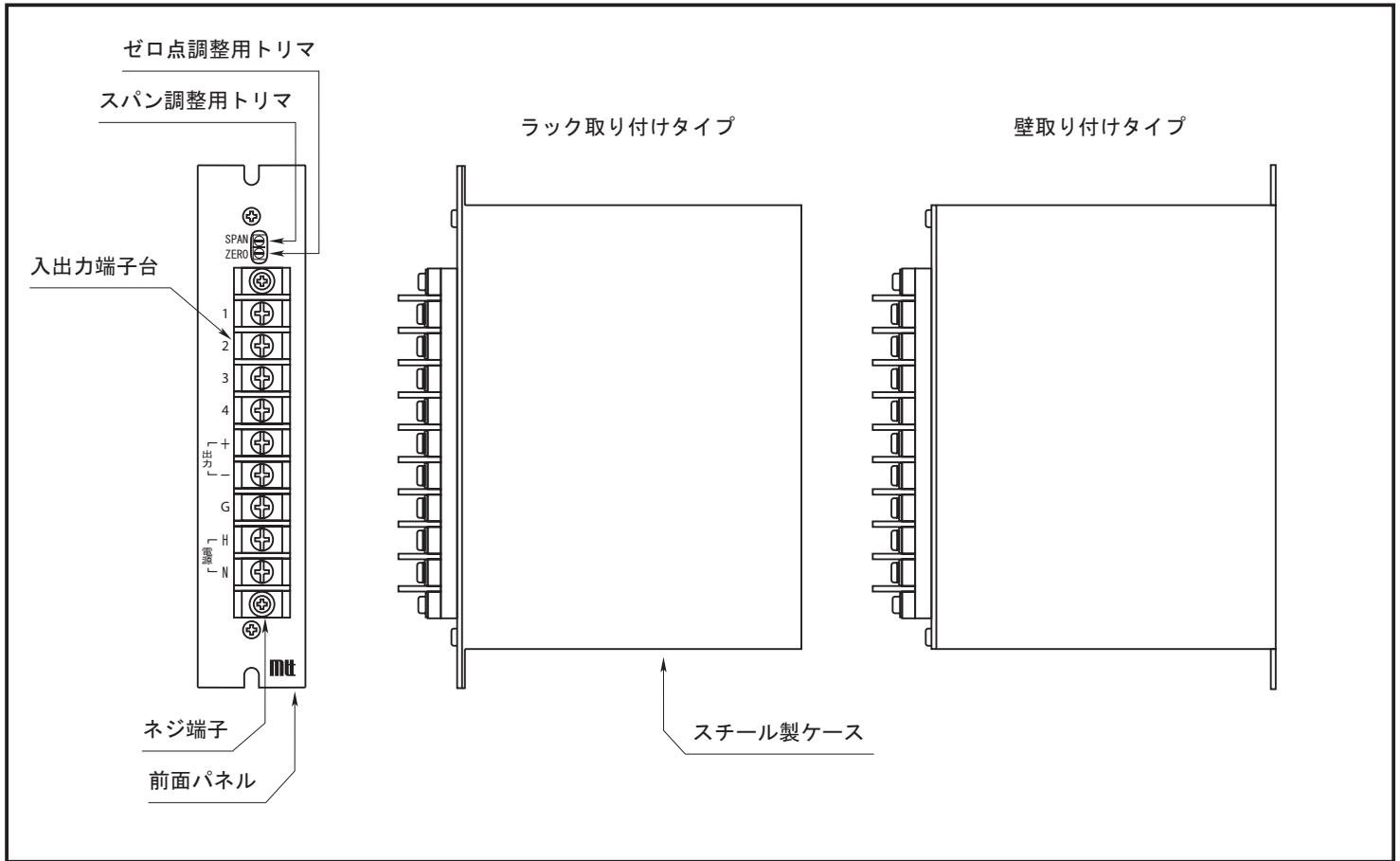
MS3200シリーズの信号変換器は、ユニット型の絶縁信号変換器です。入出力の種類別に機種が構成され、1chの入力に対して絶縁された1chまたは2chの出力をもっています。製品には「ラック収納タイプ」と「壁取付タイプ」の2種類があります。各信号変換器の入力—第1出力（第2出力）—電源は、一部の機種を除きトランスまたはフォトカプラにより絶縁されています。

### RC3200

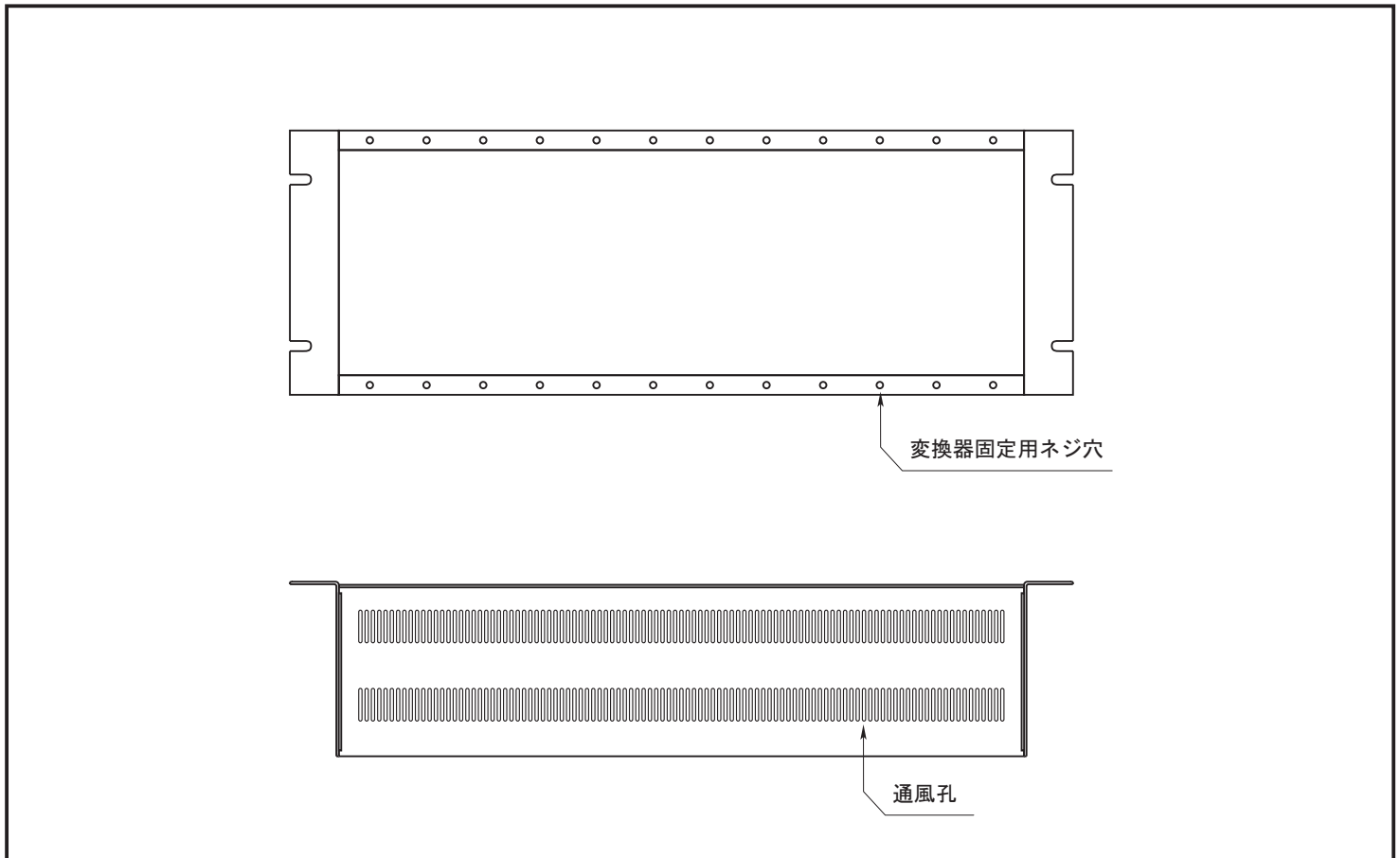
MS3200シリーズの信号変換器を収納するための専用収納ラックです。機種により信号変換器収納台数、取付方法に違いがあります。

### 3. 各部の名称

#### 信号変換器



#### RC3200

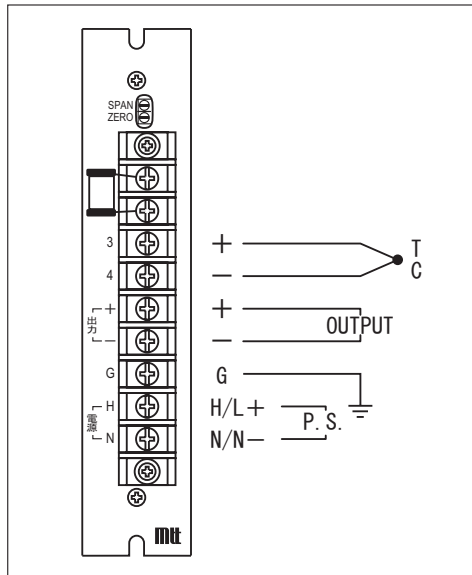


### 4. 接続の方法

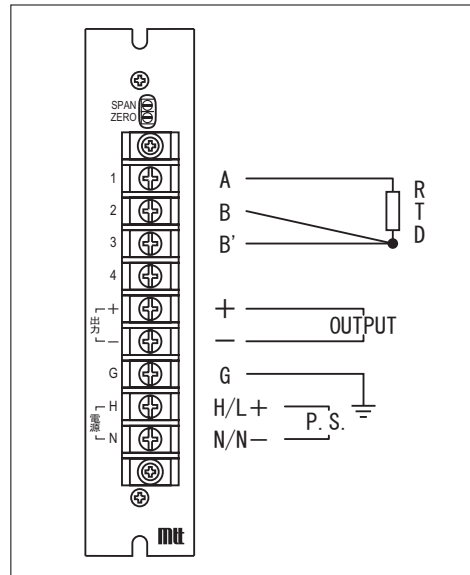
各信号変換器に対する入力・出力・駆動電源の接続は、各信号変換器前面パネルのネジ端子に対して行います。

機種ごとの端子配列は以下の図をご参照ください。（壁取付タイプも同様の端子配列です）

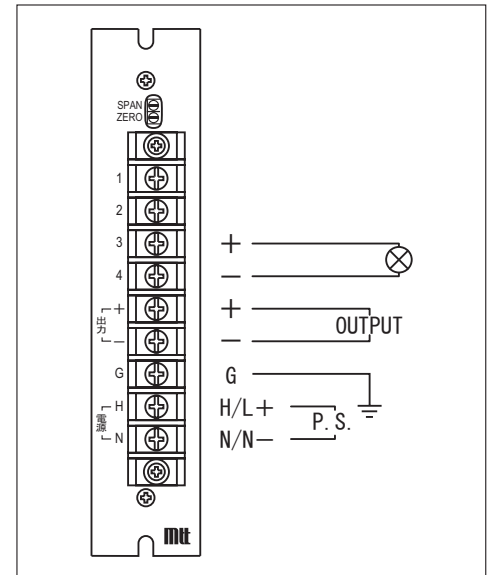
MS3201



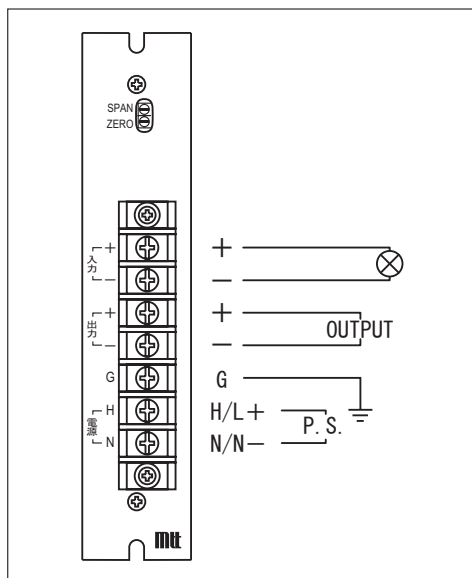
MS3202



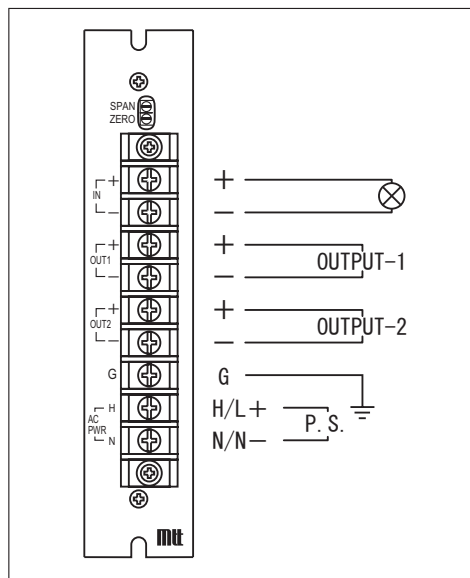
MS3203/MS3403



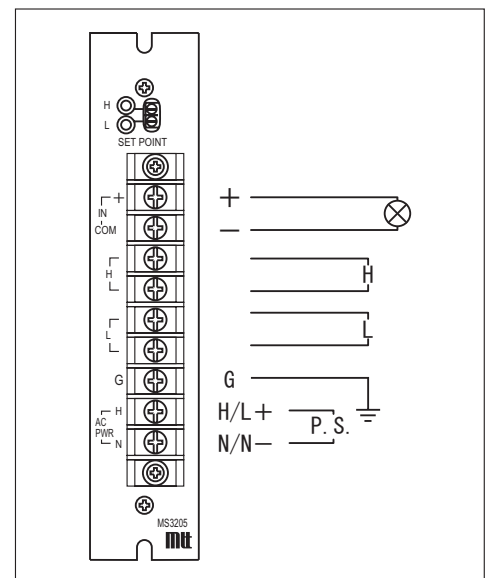
MS3204/13/24/3404



MS3204W

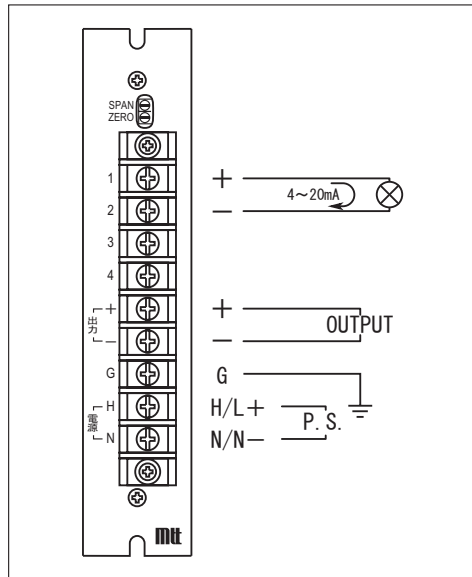


MS3205



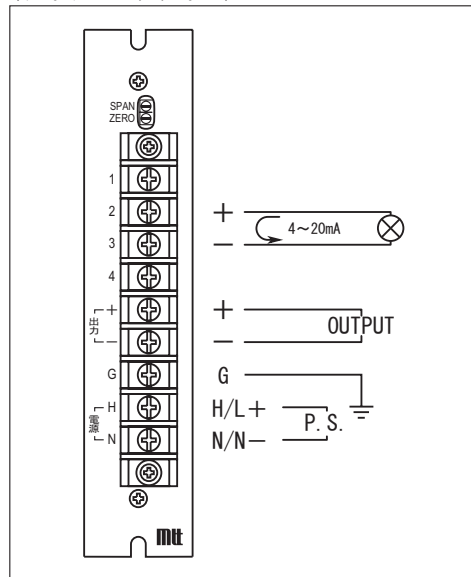
MS3207

(ディストリビュータタイプ)



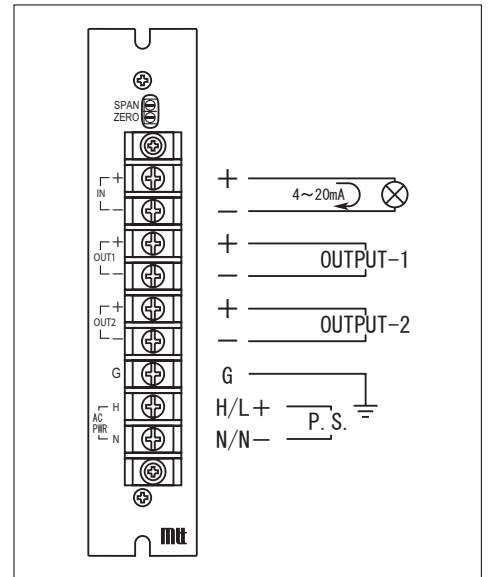
MS3207

(アイソレータタイプ)



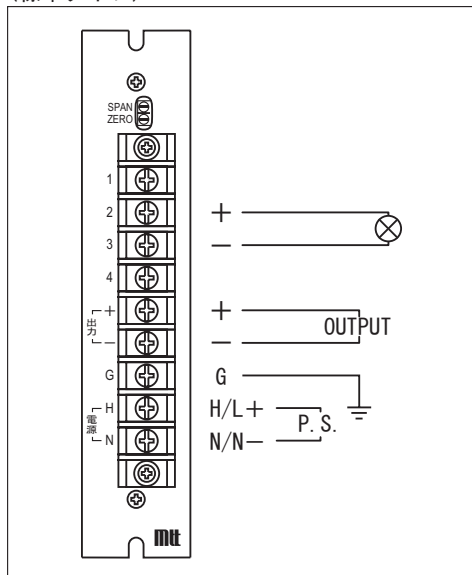
MS3207W

(2出力タイプ)



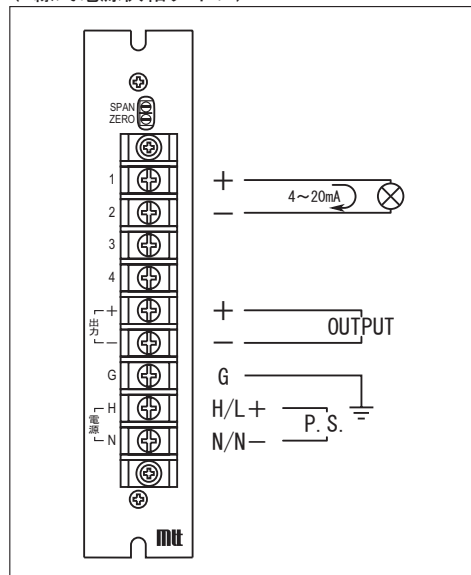
MS3208

(標準タイプ)



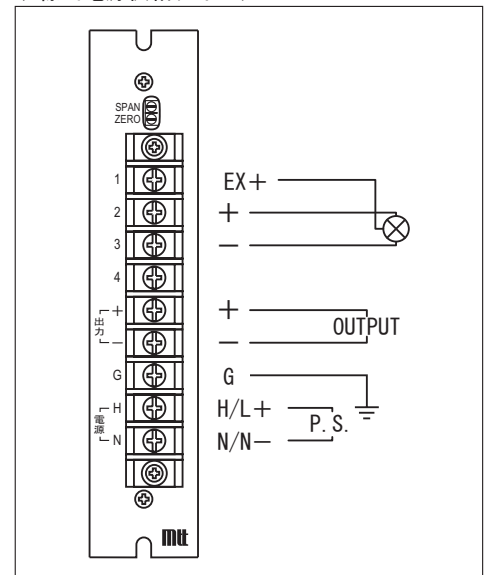
MS3208

(2線式電源供給タイプ)



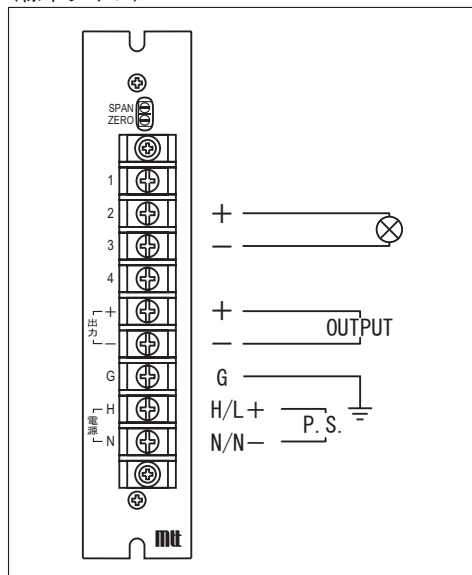
MS3208

(3線式電源供給タイプ)



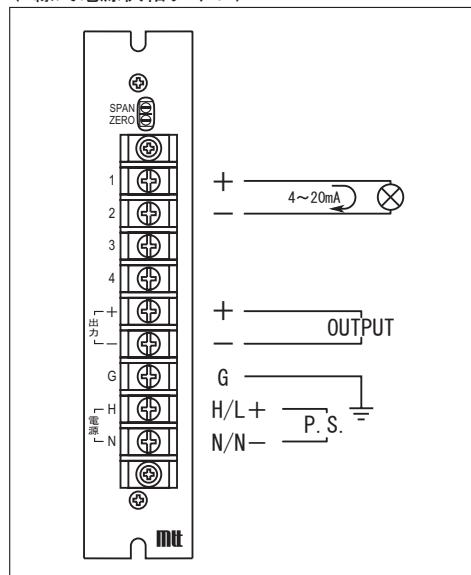
MS3209

(標準タイプ)



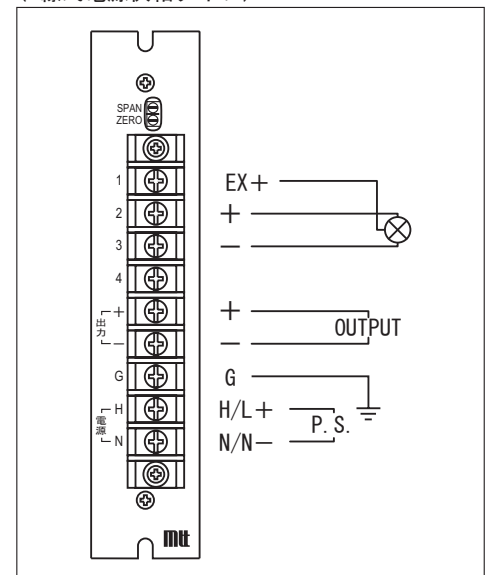
MS3209

(2線式電源供給タイプ)

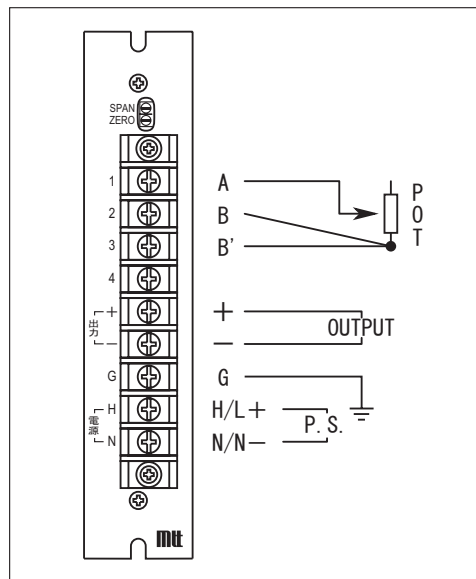


MS3209

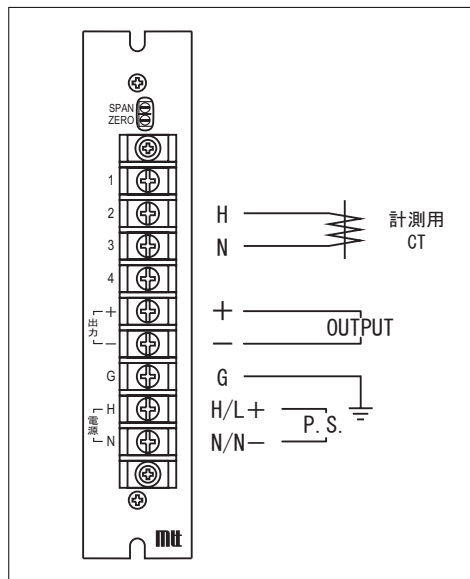
(3線式電源供給タイプ)



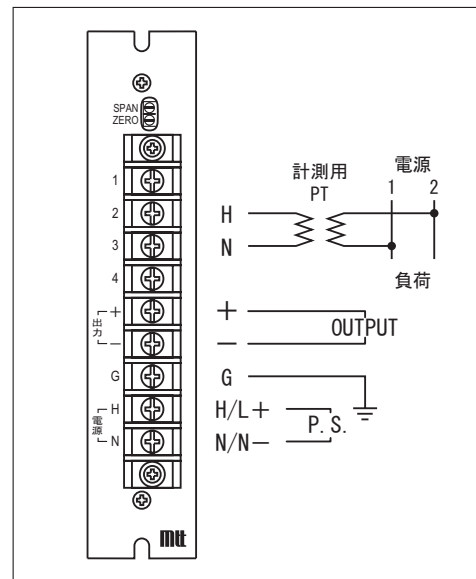
MS3210



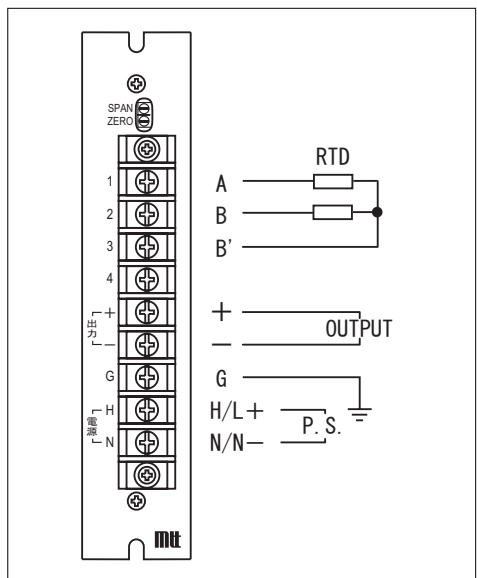
MS3220



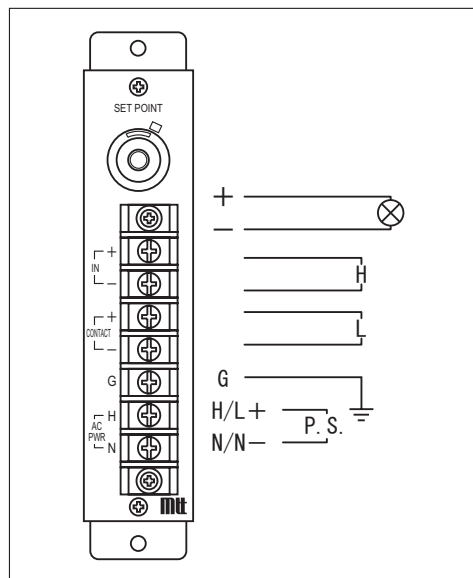
MS3221



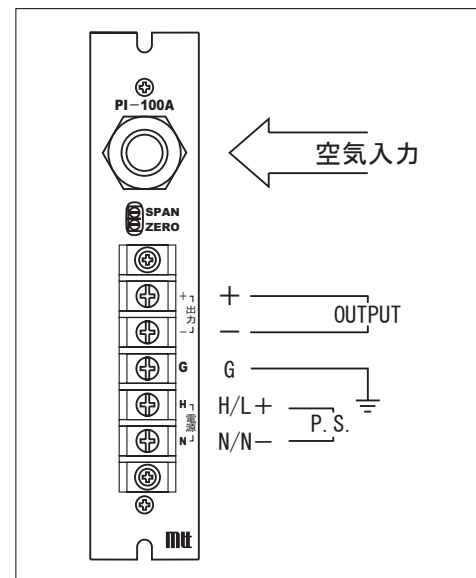
MS3222



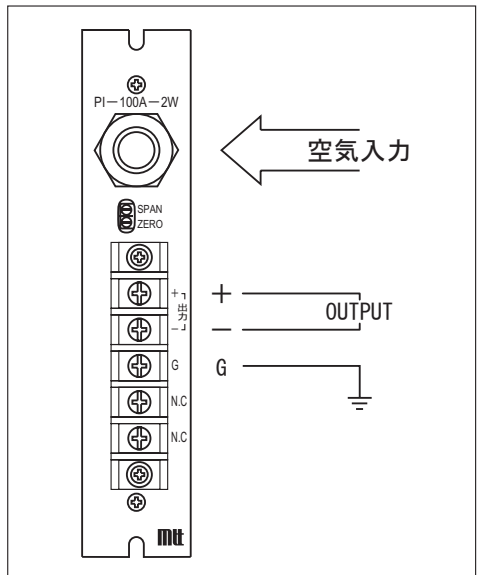
MS3225



PI100



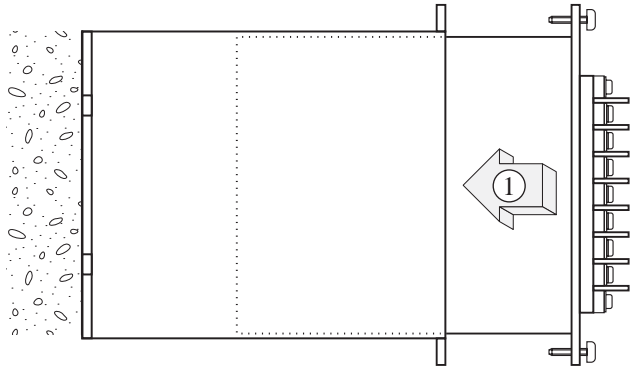
PI100-2W



## 5. 信号変換器のラックへの取り付け・取り外し

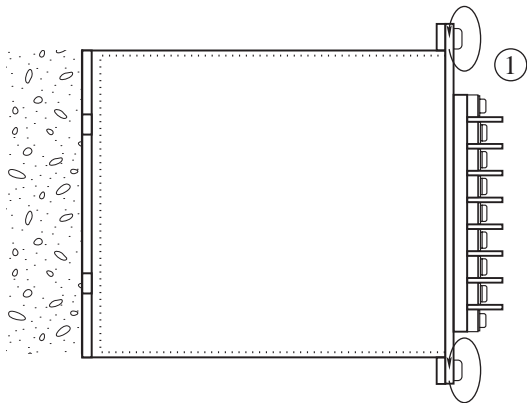
## 5-1. ラック取り付けタイプ

## 変換器の取り付け①



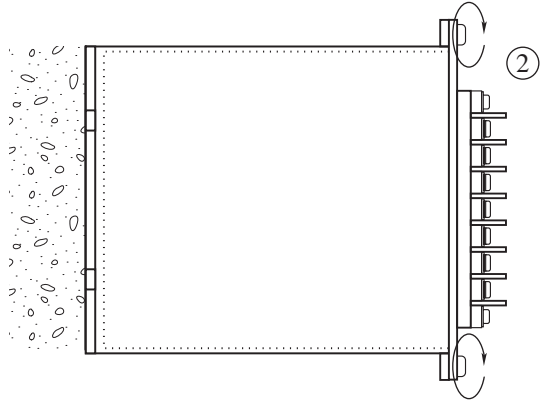
各変換器と対応するラックの変換器固定用ネジ穴の位置とを合わせ、変換器をまっすぐ入れてください。

## 変換器の取り外し①



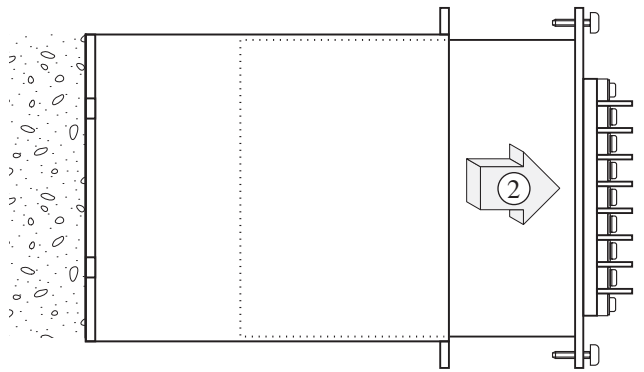
最初に、各ネジ端子に接続されている配線等を外して下さい。その後に、プラスドライバを使用し2個の変換器固定用ネジを弛めてください。

## 変換器の取り付け②



プラスドライバを使用して2個の変換器固定用ネジを締め付けてください。その後に、各ネジ端子に対して接続を行ってください。

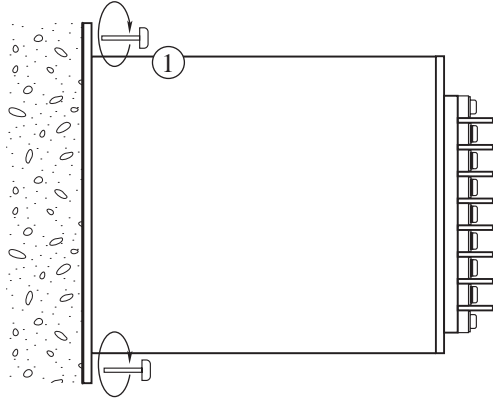
## 変換器の取り外し②



他の変換器等を傷つけないように、変換器をまっすぐ引き抜いてください。

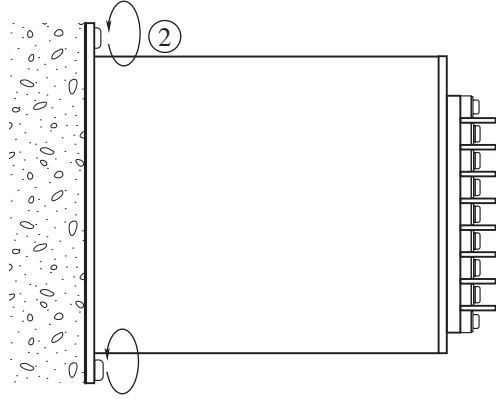
## 5-2. 壁取り付けタイプ

変換器の取り付け



各変換器と対応する壁の変換器固定用ネジ穴の位置とを合わせ、プラスドライバを使用して2個の変換器固定用ネジを締め付けてください。その後、各ネジ端子に対して接続を行ってください。

変換器の取り外し



最初に、各ネジ端子に接続されている配線等を外して下さい。その後にプラスドライバを使用して2個の変換器固定用ネジを弛めて、変換器を外して下さい。

## 6. 使用上のご注意

- ① 本機の設置は、ホコリ、金属粉、水分、腐蝕性ガス、振動等の存在しない場所に行ってください。
- ② 電源、入力信号、出力信号の配線は、ノイズ源や、リレー駆動、高周波ラインの近くには行わないで下さい。
- ③ 本機による計測に先立って、念の為、約30分間のウォーミングアップを行ってください。